

平成 25 年 (2013 年) 度 事 業 計 画 書

平成 25 年 8 月 1 日から平成 26 年 7 月 31 日まで

特別非営利活動法人 東京ノーヴィ・レパトリーシアター

1. 事業方針

私たちは、演劇芸術を通して“心を豊かに育てる文化・芸術”を広く普及させていく為に、平成25年度は、以下の内容の事業計画を通して、社会に貢献することを目指します。

2. 事業計画

(1) 特定非営利活動に関わる事業

< 演劇の公演事業(定款 5 条-1) >

名称: 両国「毎月レパトリー」公演

両国シアター X 劇場の協力により、共同事業として「チケット価格千円」での公演を続けています。

この活動は、多くの人に「芸術は、気軽に、当たり前に触れられるもので、特別なことではない」という事を伝え、また「レパトリーシステム公演」についての認知度を高めています。今年度は更に充実を図り、10 ヶ月間にわたる上演を予定します。

上演演目: ドストエフスキー原作 『Idiot～白痴より～』
B・ブレヒト作 『コーカサスの白墨の輪』

名称: 「古事記～天と地といのちの架け橋」公演

既に多くの分野の芸術専門家の協力を仰ぎながら、私たちは、この準備を1年に及び進めています。

日本の最も古い古典である「古事記」の舞台化は、多くの人々に、日本人の心、日本の文化土壌の美しさ、素晴らしさを伝え、そのことが同時に、現代の様々な混迷・不安を乗り越えていく助けになると考えています。今後の発展のキーとなる企画と言えます。

上演演目: 鎌田東二原作 『古事記～天と地といのちの架け橋』
(天地創生～天岩戸までの神話を舞台化)

名称: 下北沢「レパトリー」公演

現在の方針としては下北沢アトリエでのレパトリー公演は縮小していく方向で、今後は他の地域での公演普及活動にシフトを移していく考えです。(2014 年 “下北沢演劇祭”参加)。

上演演目: サミュエル・ベケット作 『ゴドーを待ちながら』

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
演劇の公演事業	< 毎月レパトリー公演 > 10 ヶ月にわたり古典大作(2 本)を、毎月千円の価格で公開し、「レパトリーシステム」公演の普及活動を継続する。(10 ヶ月 20 公演予定)	平成 25 年 9 月～ 平成 26 年 6 月 (予定)	両国シアター X (東京都墨田区)	40 人	一般 2,000 人	8,500 (千円)
	< 『ゴドーを待ちながら』公演 > 不条理作家として、観念的に扱われてしまっているノーベル文学賞作家ベケットの代表作『ゴドーを待ちながら』を実験上演。(6 公演予定)	平成 26 年 2 月 (予定)	東京ノーヴィ・レパトリーシアター (東京都世田谷区)	20 人	一般 150 人	
	< 「古事記～天と地といのちの架け橋」公演 > 日本の神話『古事記』の舞台化上演する。 次年度の本公演に先立ち 1 幕のみの上演。(1 公演)	平成 26 年 6 月 (予定)	両国シアター X (東京都墨田区)	40 人	一般 150 人	

<演劇芸術に関わる人材育成支援事業(定款5条-2)>

【注】原則として、ここでは「年間継続して行っている人材育成支援活動」を扱い、特定の地域、地方で単発で開催される人材育成支援に関わる活動は「地域文化支援事業」で扱っています(例:町田市での演劇ワークショップ、長野県演劇ワークショップなど)。

名称:「東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー」

優れた芸術理論とその実践的な方法論の公開、およびそれを通しての人材育成は、文化が広く根付いていくための要となる仕事です。私たちは、これまで10年にわたり、毎年度継続して、当団体に招聘しているロシア功労芸術家、L・アニシモフ氏によるマスタークラスを、一般の方々に提供・公開してきましたが、より充実した内容に発展させるため、当年度より10ヶ月間におよぶカリキュラムの「東京インターナショナル・スタニスラフスキー・アカデミー」を開校します。指導は、当団体に招聘しているロシア功労芸術家、レオニード・アニシモフです。

名称:「第2スタジオクラス(旧称:シニアクラス)」

これまで一般社会人の方の中で「演劇体験を通して人生に役立てたい。演劇を継続的に学びたい」という方を対象に、スタジオクラスを開講してきました。特に50代以降の方を対象に開講した“シニアクラス”は、現在、年齢も様々な方が増え、「第2スタジオクラス」と名称を変えて継続しています。指導は、当団体に活動している俳優である菅沢晃の担当で当年度も実施します。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
人材育成支援事業	<「東京スタニスラフスキー・インターナショナル・アカデミー」開校> ロシア演劇大学でのカリキュラムを元にした10ヶ月に及ぶ教育コースを実施し、次代を担う芸術家の育成に努める。	平成25年9月～ 平成26年6月	東京ノーヴェイ・レパリー トリーシアター (東京都世田谷区)	7人	一般 20人	5,500 (千円)
	<第2スタジオクラス> 演劇を学ぶことで人生を豊かにしたい望む人々を対象に、社会人演劇クラスを継続開催する。	通年	東京ノーヴェイ・レパリー トリーシアター (東京都世田谷区)	3人	一般 10人	

<演劇芸術に関する情報発信事業(定款5条-3)>

名称:「スタニスラフスキー用語100語辞典(仮題)」等、演劇美学に関する文献の出版計画

「スタニスラフスキー・システム」は、潜在意識へのアプローチを通じた卓越した創造方法であり、優れた人材育成方法として、現在、世界中に認知され、研究されていますが、日本においては評価、研究とも未だ充分ではありません。私たちは、L・アニシモフ氏の協力の下、「スタニスラフスキー・システム」の最も基本的な、100の概念を理解する為の文献を一般に公開できるよう準備中です。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
情報発信事業	<海外文献の翻訳事業> スタニスラフスキー・システムに関する評価と研究に貢献する為、現在、ロシアの演劇文献(2点)の翻訳を進めている。	通年	東京ノーヴェイ・レパリー トリーシアター (東京都世田谷区)	3人	不特定 多数	0 (千円)

<演劇芸術を通しての国際文化交流事業(定款5条-4)>

名称:「国際演劇マスタークラス」

芸術文化は、海外との活発な交流活動を通じて、より充実した、普遍的なものへと変容します。私たちが年間、活動のキーワードとしている「Life in Art, Art in Life(芸術的な人生を送るために)」を共通テーマとして、今回、ロシアと韓国から演劇人を招聘しての国際演劇マスタークラスを開催するほか、国内の著名人をお招きして、一般向けの講演会も企画します。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
国際文化交流事業	<国際演劇マスタークラス> 芸術を通じて国際間の文化交流を行う。今回のテーマは「Life in Art, Art in Life(芸術的な人生を送る為に)」韓国・ロシアの演劇人を招聘して開催の予定。	平成 25 年 10 月 (予定)	東京ノーヴイ・レパール トリーシアター (東京都世田谷区)	40 人	演劇人 60 人	800 (千円)
	上記企画「国際演劇マスタークラス」の一環で、国内外の文化人を招いて、一般者向けの内容で講演会と公開クラスを開催する。	平成 25 年 10 月 (予定)	両国シアター X (東京都墨田区)	7 人	一般 100 人	

<演劇芸術を通しての地域文化支援事業(定款 5 条-5)>

名称:「町田市学校支援活動」

町田市立「小中一貫校ゆくのき学園」での学校支援活動を当年度も継続します。

名称:「長野県高校演劇講座」

昨年度実施して好評であった「長野県演劇講座」に当年度も講師を派遣します(主な受講者;高校生)。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額
地域支援事業	<学校支援活動> 当年度も継続して、町田市での継続的な演劇ワークショップを行い、授業の中だけでは難しいような「子供たちの人間関係・想像力等の問題」解決を支援する。	平成 25 年 10 月 (予定)	町田市 ゆくのき学園	4 人	中学生 30 人	50 (千円)
	<長野県演劇講習会> 主に高校生が対象となる長野県演劇講習会に講師を派遣し、主に“想像力”をテーマに、子供たちにロシアの演劇教育プログラムの体験をして貰う。	平成 26 年 5 月 (1 回)	長野県ホク 文化ホール	4 人	一般 150 人 (高校生が主)	
	<Xmas チャリティー公演> 「ふくしまキッズ 2013 冬のプログラム」に参加。毎年、地元の子供たちを対象に開催する Xmas チャリティー公演に、福島の子供たちを招待する(予定)。	平成 25 年 12 月 (1 回)	東京ノーヴイ・レパール トリーシアター (東京都世田谷区)	20 人	親子等 50 人	

<演劇芸術に関わるネットワーク構築事業(定款 5 条-6)>

当年度、実施計画なし。

<その他、目的を達成するために必要な事業(定款 5 条-7)>

(※当該事業は、特定非営利活動事業を補填するための活動を充てています。)

当年度、実施計画なし。